

企業景況調査報告書【えひめ版】

愛媛県商工会連合会

全国商工会連合会では、四半期毎に景況調査を実施しており、本報告書は県内商工会地域の景気動向を【えひめ版】として作成したものです。

調査対象期間：令和8年度第2四半期（令和8年7月～9月期）

調査対象企業：150企業 回答企業：150企業

（製造業：30社 建設業：22社 小売業：40社 サービス業：58社）

DI方式

DIとは、各調査項目について〔増加・上昇・好転〕の割合から〔減少・低下・悪化〕の割合を差し引いた値で〔景気動向指数〕を表しています。

*記号とDI値の関係

 快晴 ～30.1	 晴 30.0 ～10.1	 薄曇 10.0 ～▲10.0	 曇 ▲10.1 ～▲30.0	 雨 ▲30.1～
---	--	--	--	---

1. 業況判断DIと天気図（2年間の推移）

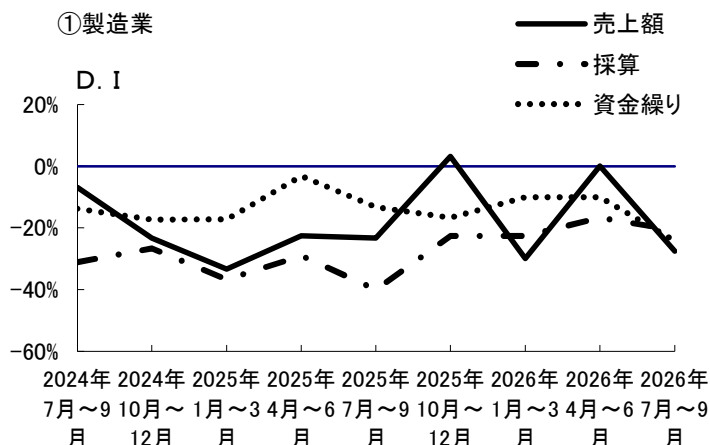
期別	業種別	①製造業		②建設業		③小売業		④サービス業		全体	
	令和6年 7～9月期		▲ 17.9		▲ 20.0		▲ 41.4		▲ 10.5		▲ 22.5
	令和6年 10～12月期		▲ 26.7		▲ 10.0		▲ 33.4		▲ 5.2		▲ 18.8
	令和7年 1～3月期		▲ 26.6		▲ 20.0		▲ 38.5		▲ 15.5		▲ 25.2
	令和7年 4～6月期		▲ 12.9		▲ 5.3		▲ 21.5		1.8		▲ 9.5
	令和7年 7～9月期		▲ 23.3		▲ 10.0		▲ 21.5		1.8		▲ 13.3
	令和7年 10～12月期		▲ 25.8		▲ 10.0		▲ 28.6		▲ 8.9		▲ 18.3
	令和8年 1～3月期		▲ 12.9		0.0		▲ 7.3		0.0		▲ 5.1
	令和8年 4～6月期		▲ 20.0		▲ 27.3		▲ 15.0		▲ 14.1		▲ 19.1
	令和8年 7～9月期		▲ 23.3		▲ 4.6		▲ 7.7		▲ 1.8		▲ 9.4
	令和8年 10～12月期		▲ 16.7		▲ 9.1		▲ 10.0		▲ 12.5		▲ 12.1

（注1）業況判断DIポイント値は、前年同期と比較して業況が「好転」と答えた企業の割合から「悪化」と答えた企業の割合を引いたもの

（注2）「全体」のポイント値は全業種の単純平均値

2. 業種別景気動向

①製造業



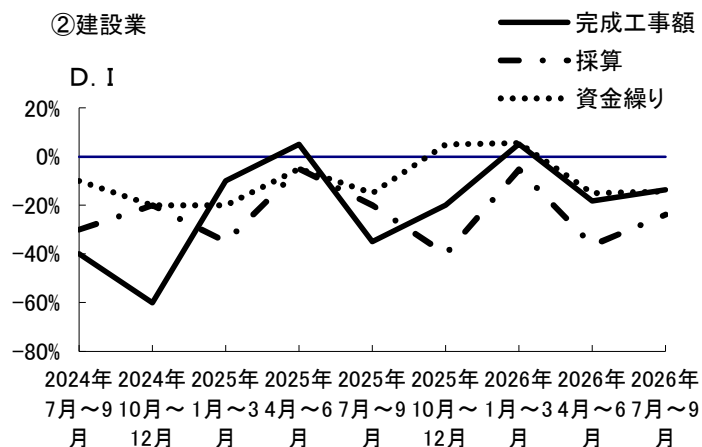
＜前期比＞

売上額 : 悪化 (0.0→▲27.6 ポイント)
採算 : やや悪化 (▲16.7→▲20.7 ポイント)
資金繰り : 悪化 (▲10.0→▲24.2 ポイント)

＜経営上の問題点＞（順位と比率）

- 1 位 : 原材料価格の上昇 (50.0%)
- 2 位 : 従業員の確保難 (18.2%)

②建設業



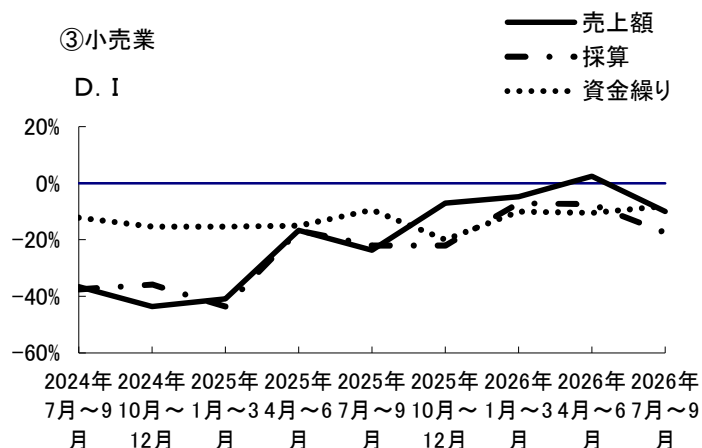
＜前期比＞

完成工事額 : やや好転 (▲18.2→▲13.7 ポイント)
採算 : 好転 (▲36.4→▲23.8 ポイント)
資金繰り : ほぼ横ばい (▲15.0→▲14.3 ポイント)

＜経営上の問題点＞（順位と比率）

- 1 位 : 材料価格の上昇 (50.0%)
- 2 位 : 人件費の増加 (11.1%)
従業員の確保難 (11.1%)

③小売業



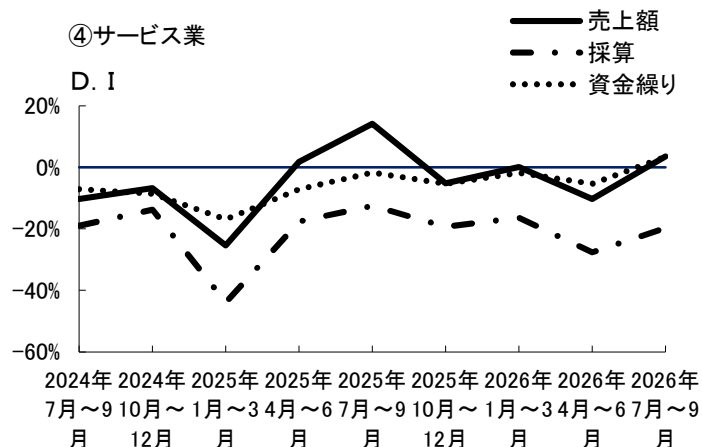
＜前期比＞

売上額 : 悪化 (2.5→▲10.0 ポイント)
採算 : やや悪化 (▲7.5→▲17.5 ポイント)
資金繰り : やや好転 (▲10.5→▲8.1 ポイント)

＜経営上の問題点＞（順位と比率）

- 1 位 : 仕入単価の上昇 (21.2%)
- 2 位 : 購買力の他地域への流出 (15.2%)

④サービス業



＜前期比＞

売上額 : 好転 (▲10.4→3.5 ポイント)
採算 : やや好転 (▲27.6→▲19.7 ポイント)
資金繰り : やや好転 (▲5.4→3.4 ポイント)

＜経営上の問題点＞（順位と比率）

- 1 位 : 材料等仕入単価の上昇 (36.4%)
- 2 位 : 従業員の確保難 (20.5%)